

公益財団法人全日本スキー連盟



第 30 回 スキー パトロール 技術 競技 大会
2015 年 スキー パトロール 研修 会 (第 1 会 場)



期日：2015年3月28日(土)～29日(日)

会場：群馬県・草津国際スキー場

主催：公益財団法人全日本スキー連盟

主管：公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部

協力：群馬県スキー連盟，群馬県スキー連盟安全対策部，草津町，草津町観光協会，
草津スキークラブ，草津国際スキー場，草津ナウリゾートホテル

協賛：株式会社マックアース，日本スキーパトロール協議会

祝

第30回スキーパトロール技術競技大会
選手の皆さんの御健闘をお祈りいたします



日本スキーパトロール協議会（JSPA）

会		長	一	戸	繁	輝
副	会	長	田	口	晶	英
副	会	長	松	本	徹	也
副	会	長	加	藤	昭	光
副	会	長	廣	田	正	利
副	会	長	相	澤		徹
理	会	長	遠	藤		正
事	事	長	富	樫	泰	一
務	局	長	保	坂	淳	司

URL <http://jspa.la.coocan.jp/>

e-mail: info@jspa.la.coocan.jp

スキーパトロール技術競技大会一覧

回	開催年	都道府県	スキー場	総合Top3 (備考)		
				1位	2位	3位
30	2015	群馬県	草津国際スキー場			
29	2014	福島県	会津高原南郷スキー場	群馬選抜	宮城選抜A	山形県蔵王
28	2013	群馬県	スノーパーク尾瀬戸倉	宮城選抜	群馬選抜	平湯温泉A
27	2012	北海道	ルスツリゾート	宮城選抜	北海道ス連	神奈川
26	2011	北海道	ルスツリゾート	(東日本大震災により中止)		
25	2010	岩手県	網張温泉スキー場	宮城選抜	平湯温泉B	平湯温泉A
24	2009	群馬県	パルコール孺恋スキーリゾート	兵庫鉢伏	チーム宮城	福島選抜
23	2008	福島県	あだたら高原スキー場	宮城選抜	兵庫鉢伏	神奈川男子A
22	2007	石川県	白山瀨女高原スキー場	宮城選抜	兵庫鉢伏	群馬選抜
21	2006	群馬県	水上宝台樹スキー場	宮城選抜	神奈川B	兵庫鉢伏
20	2005	長野県	夜間瀬温泉スキー場	ジュネス栗駒	アルツ磐梯	ダイナランド
19	2004	岐阜県	朴の木平スキー場	ジュネス栗駒	アルツ磐梯	ダイナランド
18	2003	福島県	あだたら高原スキー場	ダイナランド	宮城選抜	福島B
17	2002	秋田県	ジュネス栗駒スキー場	宮城選抜	ダイナランド	アルツ磐梯
16	2001	新潟県	シャルマン火打スキー場	宮城選抜A	野沢温泉	アルツ磐梯
15	2000	群馬県	草津国際スキー場	アルツ磐梯	ジュネス栗駒	ダイナランド
14	1999	宮城県	オニコウベスキー場	宮城A	ジュネス栗駒	宮城B
13	1998	福島県	あだたら高原スキー場	札幌選抜	アルツ磐梯	北海道自衛隊
12	1997	岐阜県	平湯温泉スキー場	ジュネス栗駒	北海道A	山梨
11	1996	長野県	野沢温泉スキー場			ジュネス栗駒
10	1995	北海道	ルスツリゾートスキー場	野沢温泉	白馬A	福島アルツ
9	1994	青森県	大鱈スキー場	群馬	白馬A	北海道
8	1993	岐阜県	ダイナランドスキー場	群馬A	福島C	北海道A
7	1992	長野県	斑尾高原スキー場	群馬A	福島C	青森B(八甲田)
6	1991	福島県	猪苗代・猫魔スキー場	群馬A	福島B	福島A
5	1990	山形県	蔵王スキー場	あだたら	群馬A	宮城A
4	1989	福島県	あだたら高原スキー場	猫魔		
3	1988	秋田県	田沢湖スキー場	猪苗代・南郷		
2	1987	長野県	八方尾根スキー場	長野A	長野B	福島A
1	1986	岩手県	網張スキー場	山形A	長野B	

※ 第10回大会より搬送種目はロープボートからアキヤボートになった

大会開催回数ランキング 福島 (6回)、群馬 (5回)、長野 (4回)
--

優勝回数ランキング 宮城 (9)、群馬 (5)、福島 (4)

目 次

競技大会一覧	1
開会式閉会式式次第	2
競技大会開催要項	3
大会役員・競技役員	4
技術競技大会日程	5
競技大会要項	6
選手名簿	9
研修会開催要項	11
研修会日程	12
研修会参加者名簿	13
雪上競技コース図	15
会場施設配置図	16

スキーパトロール技術競技大会 式次第

開 会 式	閉 会 式
1 開式の辞	1 開式の辞
2 主催者挨拶	2 主催者挨拶
3 来賓挨拶	3 来賓挨拶
4 役員等紹介	4 成績発表
5 選手宣誓	5 表彰
6 閉式の辞	6 講評
	7 閉式の辞

公認スキーパトロール研修会 式次第

開 会 式	閉 会 式
1 開式の辞	1 開式の辞
2 主催者挨拶	2 主催者挨拶
3 来賓挨拶	3 来賓挨拶
4 主任講師挨拶	4 講評
5 講師紹介	5 シーハイル
6 閉式の辞	6 閉式の辞

第30回スキーパトロール技術競技大会開催要項

- 【 会 期 】 2015年3月28日(土)～3月29日(日)
- 【 会 場 】 群馬県・草津国際スキー場
- 【 主 催 】 公益財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部
- 【 本 部 】 草津ナウリゾートホテル
〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津 750 TEL 0279-88-5111
- 【事業の目的】 本大会は、年に一度、全国各地で活躍するスキーパトロールが一堂に会し、スキー傷害等が発生した場合に備え、より早く安全に関係機関への引き渡しができる技術を研鑽することにあります。
- 【参加資格】 (1) 当該年度の本連盟会員であること。
(2) 公認スキーパトロールまたは加盟団体が認定するスキーパトロールであること。
(3) 傷害保険に加入していること。
- 【チー ム】 (1) チームの選手は3名以内とする。
(2) 雪上競技はチーム2名の選手で行う。
(3) 室内競技はチーム2名の選手で行う。
- 【携 行 品】 アキヤボートは、各チームで準備する。但し、準備できない場合は事前に大会事務局に連絡する。室内競技で使用するロープ、三角巾は大会本部で準備する。
- 【 特 典 】 競技大会参加者は、公認パトロール研修会規程に定める研修会出席と同等の扱いとする。この際、所定の研修会申込み用紙に記入のうえ、研修会参加料を添えて加盟団体経由で申し込むこと。

第30回スキーパトロール技術競技大会 大会役員

大会役員	会長	鈴木 洋一
	副会長	吉田 肇 坂本 祐之輔
	大会委員長	岡山 紘一郎
	大会役員	谷 雅雄 古川 年正 登山 一成 五十嵐憲雄 増田 千春 山田 隆 矢船 保夫
組織委員会	委員長	山田 隆
	副委員長	秋元 洋一
	委員	富樫 泰一 鈴木 恵太
	総務	中澤 卓
	地元役員	黒岩 信忠 中澤 敬 長井 英二 後藤 泰彦 市川 信雄 湯本 恒三 山本 進一 小林 貴 湯田 寿幸 片倉 善文
	協力	群馬県スキー連盟 群馬県スキー連盟安全対策部 草津町 草津町観光協会 草津スキークラブ 草津国際スキー場 草津ナウリゾートホテル
	協賛	株式会社マックアース 日本スキーパトロール協議会

第30回スキーパトロール技術競技大会 競技役員

技術代表	秋元 洋一
競技委員長	鈴木 恵太
競技係長	富樫 泰一

〈雪上競技〉

主審	米田 幸雄
出発審判	小瀬 強
決勝審判	影山 広美
旗門審判長	須藤 光春
計時計算記録係長	保坂 淳司
コース係長	織田 久
コース係	研修会参加者
セッター	鈴木 恵太
ペナルティ審判	三井 晃一 上杉 一哲 和田 均 山川 正一 太田 廣 新村 昌宏
会場施設係長	中澤 卓

〈室内競技〉

ロープ競技審判長	米田 幸雄
ロープ競技審判	小瀬 強
三角巾競技審判長	須藤 光春
三角巾競技審判	影山 広美
計時計算記録係長	保坂 淳司
計時審判	織田 久 三井 晃一 上杉 一哲 和田 均 山川 正一 太田 廣 新村 昌宏
会場施設係長	中澤 卓

第30回スキーパトロール技術競技大会 日程

○大会前日 3月27日(金)

時間	項目	場所	備考
17:00~18:30	役員集合・役員会	②B1F 大宴会場・浅間	
18:30~	夕食		

○第1日目 3月28日(土)

時間	項目	場所	備考
07:00~	朝食	①B1F メインダイニング	
08:00~10:00	受付	⑧2F フロント横	
10:00~11:00	選手会 監督会議	②B1F 大宴会場	
11:00~12:00	ボートチェック	スキー場パト室前	
12:00~13:00	昼食	①B1F メインダイニング	
13:00~13:45	開会式	②B1F 大宴会場	
14:30~17:30	室内競技	②B1F 大宴会場	
18:30~21:00	情報交換会	②B1F 大宴会場	

○第2日目 3月29日(日)

時間	項目	場所	備考
07:00~	朝食	①B1F メインダイニング	手荷物は、②1F クラブグッピー
09:00~09:40	選手インスペクション	天狗山ゲレンデ	ビブ着用
09:45~09:55	ジュリーインスペクション	天狗山ゲレンデ	
10:00~11:00	アキヤボート搬送競技	天狗山ゲレンデ	
11:30~12:15	チーム総合滑降競技	天狗山ゲレンデ	
13:30~14:15	大会表彰式・閉会式	②B1F 大宴会場	

第30回スキーパトロール技術競技大会 要項

1 目的

本大会は、全国各地で活躍するスキーパトロールが一堂に会し、スキー事故等で発生する傷病者に対する、安全・迅速・適切な応急処置技術と搬送技術を競い合い、その結果高められたそれらの技術を日頃の救護活動に活かすことを目的とする。

2 競技種目

雪上競技2種目及び室内競技2種目の合計4種目とする。

3 競技方法

- (1) チームの選手は3名以内とする。
- (2) 雪上競技はチーム2名の選手で行う。
- (3) 室内競技はチーム2名の選手で行う。
- (4) チーム総合成績は、雪上競技成績と室内競技成績の合計で競う。
- (5) 競技に関する統制や細部事項等については選手会で決定する。
- (6) 雪上競技は、ヘルメットの着用を義務付ける。

4 雪上競技

救護活動を想定した、安全かつ迅速な搬送技術を競うアキヤボート搬送種目（以下「搬送種目」という）とスキー技術とチームワークを競うチーム総合滑降種目（以下「総合滑降種目」という）の2種目で行う。

4-1 搬送種目

- (1) 競技は、仮傷病者1名を載せたアキヤボート前後2人搬送で行なう。
- (2) 仮傷病者はチームが準備する。
- (3) 得点は、アキヤボート後方の選手がスタートラインを通過してから、前方の選手がゴールラインを通過するまでの計測タイムとペナルティタイムの合計とする。

4-1-1 ペナルティタイム（各1回、1旗門につき）

- | | |
|--|-----|
| (1) 旗門に接触（接触の程度に関係なく） | 5秒 |
| (2) 停止エリア内で無停止 | 5秒 |
| (3) 搬送者の転倒 | 10秒 |
| (4) 搬送者以外の補助行為 | 10秒 |
| (5) ハンドルからの手離し | 10秒 |
| (6) 搬送中の仮傷病者に対する大きな動揺
（判定方法は選手会で示す） | 10秒 |
| (7) 主審が危険と判断したその他の行為 | 10秒 |
| (8) アキヤボートの転覆
（仮傷病者の雪面への身体接触も含む） | 30秒 |
| (9) 旗門不通過 | 30秒 |

4-1-2 ルールの付則

- (1) アキヤボートの通過とは、2人搬送の状態では前後の選手が、旗門と旗門を結ぶライン上を両スキーで通過したとき「通過」と認める。
- (2) 停止エリアで完全停止する。
- (3) 競技は、計測開始から終了まで1チーム毎を原則とする。

- (4) 再レースの必要な「抗議」については競技終了後 5 分以内に、当該チーム選手が主審に対して行うものとする。ただしペナルティに対する抗議は一切これを認めない。

4-2 総合滑降種目

- (1) 競技は、チーム 2 名で行う。
- (2) 滑降は、自由演技とする。
- (3) 評価の観点は、演技構成・スキー技術・スピード・チームワークとする。
- (4) 得点は、500 点から 5 人の審判員の得点を除いた値に係数を乗じたものと、ペナルティポイントとの合計とする。係数は選手会で提示する。

4-2-1 ペナルティポイント

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 停止エリア内での無停止 | 5 ポイント |
| (2) スキー、ストック、手袋等の脱落 | 5 ポイント |

4-3 雪上競技ルールへの付則

総合成績が同点の場合、搬送種目の順位に準ずる。

5 室内競技

救助活動等に必須技術である、正確・迅速なロープ操法種目と、指定部位への迅速・適切な三角巾包帯法種目（以下「包帯法種目」という）の 2 種目で行う。

5-1 ロープ操法種目

- (1) 選手会で抽選した結束種目（一人 4 種目）を行う。
- (2) タイム計測は、審判長の「始め」の合図から、選手の両足がゴールラインを通過するまでとする。
- (3) 得点は、計測タイムに 1.5 を乗じた値とペナルティタイムの合計とする。
- (4) 総合成績はチーム 2 名の合計得点で競う。

5-1-1 ペナルティタイム

- | | |
|---------------------|------|
| (1) 未完（誤結束、タイムオーバー） | 20 秒 |
| (2) 指定条件違反 | 3 秒 |

5-1-2 ルールの付則

- (1) ロープは、大会本部で準備したものを使用する。
- (2) 制限タイムは、4 種目で 90 秒とする。
- (3) ペナルティの判定は審判員が行う。
- (4) 指定条件
 - a) 目的に適う正しい結束であること。
 - b) 結束後の末端の長さは約 10cm（一握り）程度を目安とする。
 - c) 輪を作る結束は、輪の大きさの基準を満たすこと。
 - d) 結束の手順は自由であるが、「踏み付け操作」をしてはならない。
- (5) 審判長は、選手会において結束種目の指定条件を明確に伝達し、判定ゲージを提示する。
- (6) 審判長は、ペナルティを付加した内容を明確にし、選手に提示する。
- (7) 判定終了後、審判長の指示があるまで結束された状態を保持する。
- (8) 判定についての『抗議』は一切認めない。

5-2 包帯法種目

- (1) 選手会で抽選した包帯法種目（一人 4 種目）を仮傷病者に行う。
- (2) 計測は、審判長の「始め」の合図から、競技者の両足がゴールラインを通過するまでとする。

- (3) 得点は、計測タイムを2で除した値とペナルティタイムの合計とする。
- (4) 総合成績はチーム2名の合計得点で競う。

5-2-1 ペナルティタイム

- (1) 指定種目違反（指定された部位の間違い及び誤った包帯法） 60秒
- (2) 指定条件違反 3秒
- (3) 完成状態（4種目の仕上がりの状態をタイムで評価する）
 - a) Aランク（きれいな仕上がり状態） 0秒
 - b) Bランク（ややきれいな仕上がり状態） 2秒
 - c) Cランク（きたない仕上がり状態） 4秒

5-2-2 ルールの付則

- (1) 三角巾は、競技本部で準備したものを使用する。
- (2) 制限タイムは3分30秒とする。
- (3) ペナルティの判定は審判員が行う。
- (4) 仮傷病者は、競技本部で統制する。
- (5) 指定条件
 - a) 「目的に合う」とは、正しい部位（頂点の位置・巻きすぎ）への適切な包帯法（正しい頂点の位置・巻きすぎない）であること。
 - b) 「縛り方」は、「本結び」とする。
 - c) 「末端処理」は、両末端を両方に分けて上から処理する。
 - d) 「縛り目の位置」は、傷害部位を外した高い位置であること。

6 出場資格

- (1) 当該年度の本連盟会員であること。
- (2) 公認スキーパトロールまたは加盟団体が認定するスキーパトロールであること。
- (3) 傷害保険に加入していること。

7 表彰

表彰の区分および種類は以下の通りとし、チーム総合は3位まで、種目別は6位まで表彰する。

- (1) チーム総合（男女別）
- (2) 種目別
 - a) 搬送種目（チーム）
 - b) 総合滑降種目（チーム）
 - c) ロープ操法種目（個人）
 - d) 包帯法種目（個人）

第 30 回スキーパトロール技術競技大会 選手名簿

エントリー NO	ビブ NO	チーム名	区分	氏名	ふりがな	性別	ロープ	三角巾	搬送	総合	備考
1		ばんけいスキーパト ロール男子チーム	選手	斉藤 亮介	さいとう りょうすけ	男					
			選手	渡辺 考康	わたなべ たかやす	男					
			補欠	工藤 一致	くどう かつむね	男					
2		ばんけいスキーパト ロール女子チーム	選手	斉藤 遊魅	さいとう ゆみ	女					
			選手	櫻井 梓	さくらい あずさ	女					
3		北海道スキー連盟	選手	山森 智文	やまもり さとふみ	男					
			選手	沼澤 伯人	ぬまさわ みちと	男					
			選手	伊藤 彰人	いとう あきひと	男					
4		チーム青森	選手	福士 知史	ふくし ともふみ	男					
			選手	竹原 伸郎	たけはら しんろう	男					
			補欠	三上 智香	みかみ ちか	女					
5		宮城選抜	選手	高橋 元一	たかはし げんいち	男					
			選手	高橋 克啓	たかはし かつひろ	男					
			選手	三神 良太	みかみ りょうた	男					
6		福島選抜 A	選手	渡部 隆行	わたなべ たかゆき	男					
			選手	柿沼富士男	かきぬま ふじお	男					
			選手	東条理英子	とうじょう りえこ	女					
7		福島選抜 B	選手	馬場 相任	ばば そうじん	男					
			選手	茨城 光治	いばらぎ こうじ	男					
			選手	二瓶 絢子	にへい じゅんこ	女					
8		群馬選抜	選手	鈴木 高史	すずき たかし	男					
			選手	白鳥 順司	しらとり じゅんじ	男					
			選手	市村 秀喜	いちむら ひでき	男					
9		東京女子チーム	選手	新田 恭子	にった きょうこ	女					
			選手	水上 晶	みなかみ あき	女					
10		ヘプンスそのはら	選手	野村 龍雄	のむら たつお	男					
			選手	安井 一	やすい はじめ	男					
			選手	大藪 政隆	おおやぶ まさたか	男					

第 30 回スキーパトロール技術競技大会 選手名簿

エントリー NO	ビブ NO	チーム名	区分	氏名	ふりがな	性別	ロープ	三角巾	搬送	総合	備考
11		チーム石川 A	選手	小倉 誠吾	こくら しょうご	男					
			選手	山崎 健治	やまざき たけはる	男					
			選手	松井 美樹	まつい みき	女					
12		チーム石川 B	選手	平野 正樹	ひらの まさき	男					
			選手	辰巳 渡	たつみ わたる	男					
			選手	松井 美樹	まつい みき	女					
13		兵庫鉢伏	選手	津崎 忠広	つざき ただひろ	男					
			選手	東垣 毅	とうがき たけし	男					
			補欠	西垣 勲一	にしがき くんいち	男					

2015 年度公認スキーパトロール研修会（第 1 会場）開催要項

- 【 会 期 】 2015 年 3 月 28 日（土）～2015 年 3 月 29 日（日）
- 【 会 場 】 群馬県・草津国際スキー場
- 【 主 催 】 公益財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 公益財団法人全日本スキー連盟教育本部安全対策部
- 【 協 力 】 群馬県スキー連盟 群馬県スキー連盟安全対策部 草津国際スキー場パトロール隊
草津ナウリゾートホテル
- 【本部宿舎】 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津 750
TEL 0279-88-5111
- 【 責 任 者 】 山田 隆
- 【主任講師】 田村 一司
- 【 講 師 】 辺見 秀利 杉田 宏恵 石田 英之
- 【 総 務 】 森山 直温

メモ

2015 年度 SAJ 公認スキーパトロール研修会第 1 会場日程

○前日 3月27日(金)

時 間	項 目	場 所	備 考
17:00~18:30	役員集合・役員会	②B1F 大宴会場・浅間	
18:30~	夕食		

○第 1 日目 3月28日(土)

時 間	項 目	場 所	備 考
07:30~09:00	受付	⑧2F フロント横	
09:00~09:30	開会式	②B1F 大宴会場	
10:00~12:00	実技研修 1 (雪上) 雪崩対策の実際 (ACE 実演)	スキー場 振子沢コース	
12:00~13:00	昼食	①B1F メインダイニング	
13:00~14:30	理論研修 1 (室内) 草津国際スキー場の雪崩対策	②B1F 大宴会場・岩菅	
14:30~17:30	実技研修 2 (室内) 室内競技観戦	②B1F 大宴会場	
18:30~21:00	理論研修 2 (室内) 情報交換会	②B1F 大宴会場	

○第 2 日目 3月29日(日)

時 間	項 目	場 所	備 考
07:00~	朝食	①B1F メインダイニング	手荷物は各自の車へ
08:30~10:30	実技研修 3 (雪上)	天狗山ゲレンデ	
10:30~12:30	実技研修 4 (雪上)	天狗山ゲレンデ	
12:30~	閉会式	エクストラルーム	スキー場で解散

2015年度SAJ公認スキーパトロール研修会第1会場 参加者名簿

NO	氏名	ふりがな	性別	県連	所属クラブ	備考
1	栗秋 圭太	クリアキ ケイタ	男	北海道	函館	
2	斉藤 遊魅	サイトウ ユミ	女	北海道	北海道自衛隊スキー連盟	大会
3	齊藤 亮介	サイトウ リョウスケ	男	北海道	北海道自衛隊スキー連盟	大会
4	櫻井 梓	サクライ アズサ	女	北海道	北海道自衛隊スキー連盟	大会
5	渡辺 考康	ワタナベ タカヤス	男	北海道	北海道自衛隊スキー連盟	大会
6	岡林 弘	オカバヤシ ヒロシ	男	群馬県	片品スキークラブ	
7	金子 成徳	カネコ シゲノリ	男	群馬県	片品スキークラブ	
8	土屋 学	ツチヤ ガク	男	群馬県	片品スキークラブ	
9	茂木 敏	モギ サトシ	男	群馬県	水上スキークラブ	
10	横田 仁	ヨコタ ヒトシ	男	群馬県	高崎市スキー連盟	
11	伊藤 清美	イトウ キヨミ	男	埼玉県	アスティ	
12	大竹 亜希子	オオタケ アキコ	女	埼玉県	和光スキークラブ	
13	栗田 啓一	クリタ ケイチ	男	埼玉県	本庄市スキークラブ	
14	小泉 綾	コイズミ アヤ	女	埼玉県	ふじみ野スキークラブ	
15	佐藤 俊寿	サトウ トシヒサ	男	埼玉県	宮代スノーバムスキークラブ	
16	滝澤 徹也	タキサワ テツヤ	男	埼玉県	戸田スキークラブ	
17	茂木 真理子	モギ マリコ	女	埼玉県	入間市スキークラブ	
18	谷島 稔	ヤジマ ミノル	男	埼玉県	狭山市役所スキークラブ	
19	山本 博之	ヤマモト ヒロユキ	男	埼玉県	シ・アマンテ スキークラブ	
20	横島 和美	ヨコシマ カズミ	男	埼玉県	シ・アマンテ スキークラブ	
21	浅沼 健一	アサヌマ ケンイチ	男	東京都	荒川区スキー連盟	
22	伊東 あずみ	イトウ アズミ	女	東京都	六花スキークラブ	
23	内田 守	ウチダ マモル	男	東京都	六花スキークラブ	
24	小野木 直人	オノキ ナオト	男	東京都	若葉スキークラブ	
25	後藤 裕仁	ゴトウ ヒロヒト	男	東京都	シール・クラブ	
26	清水 弘行	シミズ ヒロユキ	男	東京都	東京ヴェーデルンススキークラブ	
27	野村 淳一	ノムラ ジュンイチ	男	東京都	東京石楠花会	
28	藤井 和重	フジイ カズシゲ	男	東京都	六花スキークラブ	
29	藤原 哲郎	フジワラ テツロウ	男	東京都	ホワイトブルーススキークラブ	
30	内田 直人	ウチダ ナオト	男	神奈川	びいたあばんスキークラブ	
31	小川 康	オカワ ヤスシ	男	神奈川	びいたあばんスキークラブ	
32	小澤 泰善	オサワ ヤスヨシ	男	神奈川	クリスタライズスキークラブ	
33	唐鎌 宏明	カラカマ ヒロアキ	男	神奈川	びいたあばんスキークラブ	
34	久保田 苗美	クボタ ナエミ	女	神奈川	びいたあばんスキークラブ	
35	栗原 崇	クリハラ タカシ	男	神奈川	資生堂かまくらスキークラブ	
36	小石 希	コイシ ノゾミ	男	神奈川	びいたあばんスキークラブ	
37	今野 善江	コンノ ヨシエ	女	神奈川	横浜市教職員スキー同好会	
38	佐藤 和彦	サトウ カズヒコ	男	神奈川	白銀スキークラブ	
39	佐俣 卓生	サマタ タクオ	男	神奈川	ユーベルスキークラブ	
40	柴山 俊子	シハヤマ トシコ	女	神奈川	びいたあばんスキークラブ	

2015年度SAJ公認スキーパトロール研修会第1会場 参加者名簿

NO	氏名	ふりがな	性別	県連	所属クラブ	備考
41	杉山 千鶴	スキヤマ チズル	女	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
42	須永 まり子	スナガ マリコ	女	神奈川県	大和スキー同好会	
43	多田 遙	タダ ハルカ	女	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
44	戸嶋 洋治	トシマ ヨウジ	男	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
45	根岸 恭代	ネギシ ヤスヨ	女	神奈川県	川崎スキークラブ	
46	林 伸次	ハヤシ シンジ	男	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
47	林 善伸	ハヤシ ヨシノブ	男	神奈川県	チーム・エアー	
48	福井 伸治	フクイ ノブハル	男	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
49	藤居 一彦	フジイ カズヒコ	男	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
50	古谷 省吾	フルヤ ショウゴ	男	神奈川県	JR東大船工場スキー部	
51	堀内 高志	ホリウチ タカシ	男	神奈川県	JR東大船工場スキー部	
52	南谷 誠	ミナタニ マコト	男	神奈川県	ジョビアルスキークラブ	
53	与口 華那	ヨグチ カナ	女	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
54	横山 幸代	ヨコヤマ サチヨ	女	神奈川県	びいたあばんスキークラブ	
55	米倉 孝則	ヨネクラ タカノリ	男	神奈川県	ザ・スキーヤーズ	
56	板村 幸英	イタムラ ユキヒデ	男	長野県	茅野市スキー協会	
57	岩村 茂	イワムラ シゲル	男	長野県	小諸スキークラブ	
58	岡 俊介	オカ シュンスケ	男	長野県	白馬村スキークラブ	
59	川村 明洋	カワムラ アキヒロ	男	長野県	白馬村スキークラブ	
60	小山 美直	コヤマ ヨシナオ	男	長野県	小諸スキークラブ	
61	関 美香	セキ ミカ	女	長野県	小諸スキークラブ	
62	谷川 和隆	タニカワ カズタカ	男	長野県	白馬村スキークラブ	
63	野村 龍雄	ノムラ タツオ	男	長野県	阿智スキークラブ	
64	松本 健志	マツモト ケンジ	男	長野県	白馬村スキークラブ	
65	森本 和重	モリモト カズシゲ	男	長野県	駒ヶ根スキークラブ	
66	五十嵐 忠則	イガラシ タダノリ	男	岐阜県	中津川スキー協会	
67	西川 博之	ニシカワ ヒロユキ	男	岐阜県	揖斐郡スキー協会	
68	塩澤 好彦	シオザワ ヨシヒコ	男	静岡県	静岡市スキー協会(スノークラウ	
69	鈴木 孝造	スズキ コウゾウ	男	静岡県	静岡市スキー協会(スノークラウ	
70	鈴木 文洋	スズキ フミヒロ	男	静岡県	沼津スキー協会	
71	望月 信雄	モチヅキ ノブオ	男	静岡県	静岡市スキー協会(スノークラウ	
72	古清水 輝	コシミス テル	男	大阪府	83 スキークラブ	
73	津崎 忠広	ツサキ タダヒロ	男	兵庫県	鉢伏スキークラブ	大会
74	東垣 毅	トウガキ タケシ	男	兵庫県	鉢伏スキークラブ	大会
75	西垣 勲一	ニシガキ クンイチ	男	兵庫県	鉢伏スキークラブ	大会
76	丸山 学	マルヤマ ガク	男	兵庫県	鉢伏スキークラブ	

第30回スキーパトロール技術競技大会 雪上競技コース図



私はこれで助かりました。

ヘルメットは あなたの スキーライフを 守ります。

ヘルメットをかぶっていたことで、
ヘルメットが身代わりとなって、重大な事故には至らなかつた事例です。
安心・安全・お洒落にスキーを楽しむために、
ヘルメットは必須アイテムです。



JSP 日本スキー産業振興協会



<後援> 公益財団法人 全日本スキー連盟
公益社団法人 日本職業スキー教師協会
一般財団法人 日本鋼索交通協会 / 全国スキー安全対策協議会

●ご使用上の注意：ヘルメットは構造上、衝撃を受けると外部および内部が破損することにより衝撃を吸収します。滑走時の転倒、衝突はもちろん、ヘルメットを単体で落したり、過度の力が加わった場合などでも破損・変形する場合があります。内部の損傷は表側からは分からない場合もありますので、一度衝撃を受けたヘルメットの再使用はお避けください。また経年変化が発生する場合がありますので、使用目安期間を過ぎましたら、買い換えをお勧めします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。

